

「平成 28 年度第 4 回阿見町道の駅運営検討委員会」議事概要

審議会等の名称	平成 28 年度第 4 回阿見町道の駅運営検討委員会
開催日時	平成 29 年 3 月 23 日（木） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 50 分
開催場所	阿見町役場 3 階 第 301 会議室
議 題	（１）指定管理予定者の紹介及び取り組みの方向性について （２）指定管理予定者との意見交換
公開・非公開の別	公開
議事結果	<p>【出席者】</p> <p>（委員）</p> <p>茨城大学農学部 准教授 牧山 正男 （株）ジョイフル本田 特別顧問 松山 茂 茨城かすみ農業協同組合共済課 課長 松本 一 阿見町認定農業者連絡会 地区委員 内山 敏雄 阿見サンクラブ 会長 野口 勝弘 阿見町商工会 青年部副部長 久保谷 敦 阿見町食生活改善推進協議会 役員 池田 明子 追原区 小松澤 静枝 南平台二丁目 灰垣 美由紀 南平台三丁目 萩原 隆子 筑波南第一工業団地連絡協議会 （セッツカートン（株）つくば工場総務課）課長 三ノ輪 進 阿見町観光コーディネーター 宮寄 眞二 あみプレミアム・アウトレット マーケティング担当 羽原 幹雄</p> <p>※欠席：東京理科大学理工学部准教授 馮 玲</p> <p>（事務局）</p> <p>阿見町役場 町長公室長 篠崎 慎一 道の駅整備推進室長 湯原 一博 道の駅整備推進室 係長 糸賀 隆之 道の駅整備推進室 主事 鈴木 淳</p> <p>（関係部署）</p> <p>産業建設部 部長 湯原 幸徳 産業建設部 農業振興課 係長 浅野 裕治 産業建設部 商工観光課 係長 本橋 大輔</p> <p>（株）ファーマーズ・フォレスト（指定管理予定者） 代表取締役社長 松本 謙 担当室長 大門 康幸 課長代理 増渕 誠人</p> <p>（オブザーバー）</p> <p>（株）オリエンタルコンサルタンツ 関東支店プロジェクト開発部 技術主査 萬代 祐介 茨城事務所長 相馬 尉志</p>

【会議の概要】

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議題

(1) 指定管理予定者の紹介及び取り組みの方向性について

(株)ファーマーズ・フォレスト（以下「F・F」という）より、提供資料を用いて説明

質疑応答は以下のとおり

- なぜ、このようなコンセプトで運営されているのか。（委員長）
- まず、行政の施策はどちらかというとプロダクトアウトで、お客さん視点にならない。作ることが目的となってしまうことが課題である。もう片方で、担い手不足と言われるが、実際には、継がないより継がせないことが根本的な課題となっている。農業に明るい未来を感じられないということだが、それは出口戦略がないことが原因というのが自分たちの発想である。地域商社というモデルはそこから生まれた。茨城県を売り込んでいく地域商社として、阿見町全体を売り込んでいく出口戦略の拠点化を目指している。（F・F）
- 拠点がない状態でプロデュースをしようとする、モノが売れるというリアル感がない。道の駅を表現の場所として、民間事業者としてしっかりと稼ぎ、それを地域にどれだけ分配するかが需要である。道の駅とアウトレットを2つの集客の装置とすることで、地域全体を味わうことができる仕組みができる。これが、片方で旅行業をやっている理由である。（F・F）
- 6次産業化について、2、3次の人が動いてもらわないと、生産者としてはどうしようもない。生産者が販売、営業までやるのは難しい。また、今回の道の駅には加工施設がない。（野口委員）
- 国は、1次産業の方々がサービス業に進出するという形で6次産業化を進めてきたが、歪みが生じている。今は、農商工連携も6次産業化も同義となっているが、結局は出口の問題である。いずれにしても、小ロットで作ると高値でしか売れない。生産者の主体的な考えをしっかりと出口に伝えていくことが大切である。（F・F）
- 道の駅だけで考えると加工施設はないが、町の中の加工場ともマッチングしながら仕組みを作っていくことが大切である。町内で全てできればそれに越したことはないが、場合によっては茨城県内や栃木県も含めてつなげることで仕組みを作っていきたい。（F・F）
- ろまんちっく村と阿見の規模が違いすぎてイメージが湧かないが、どのようにお考えか。（内山）
- ろまんちっく村は46haであり、テーマパークである。ただ、自分たちが創造していく仕組みは規模に拠らないと考えている。施設のロケーションも大切だが、仮に施設に足りないものがあっても地域全体を取り込んでいく。自分たちで自走する仕組みを作りながら、足りないコンテンツは外から補うという考えである。（F・F）
- 南平台はお店そのものがないこともあり、道の駅を楽しみにしている。メロンやカボチャのソフトクリームなどを取り入れていただきたい。手づくりパンなどにも期待している。（萩原）
- 道の駅には二つの顔がある。日常と観光のダブルターゲットである。地元の方々の日常の場所となることで道の駅が繁栄していく。土日に観光

客が入ることによってしっかりと売上を立てていく。道の駅を第3セクターで運営することもあるが、その際の論点は「地元産しか入れない」ことにこだわると、必ずしも地元の人々が利用したいものにならないということである。全て地元産でなくとも、日常的なものがある程度揃うということが大事である。それと同時に、観光で来られた方には特産物をしっかりとPRしていく。生産者や製造者の顔が見えるという売り方で、一般のスーパーマーケットとはまるで違う。また、郊外地にある地の利を生かして地元の方々の食をしっかりと支える。そして、将来的な構想としてはまちづくりの拠点となることである。(F・F)

○どのように集客をするかが気になっていたが、説明を聞いて納得した。地元の関心も高い。周りに何もないので、すごく期待している。(灰垣委員)

○食堂のスペースが狭いという印象で、大型バスは入れないように思う。(小松澤委員)

○町の予算で可能な範囲で整備する必要がある。団体で100名くらい来た場合にどう対応するかとなると、臨時的に席を設けるなど運営でカバーするという考え方も大切である。ただし、最適規模は確保したい。(F・F)

○臨機応変さがある方が入ってくださって心強い。これまで視察した道の駅ではなかなか地域とのつながりが感じられなかったため、町全体を考えてプロデュースしてくれるということはとてもよい。やりがいをもって仕事をしてくれる方も増えると考えている。(池田委員)

○阿見町には3つの工業団地がある。地元企業との連携で何か考えられていることがあればお聞かせいただきたい。(三ノ輪委員)

○工業団地は農業とはかけ離れて見えるが、実は親和性が高いと思っている。消費と協業という2つの観点がある。消費という観点では工業団地の方々の胃袋を支えることができる。また、手土産などで阿見町産を贈りたいという時にも対応できる。協業という観点では、製品化や技術提携の中でマスコダクション型の商品に替えてもらえる。さらには、加工現場等を見せるツーリズム展開も考えられる。(F・F)

○今後の進め方として、これからオープンにあたって、コンセプトややり方を提案していただけるものと思っている。それに対して意見交換を行うという形でよい。(松本委員)

○オープンまでの2年間のタイムスケジュールとしては、ファーマーズフォレストさんのご提案のもとこれから詰めていく段階であり、要所要所でJAや商工会など関係者と協議させていただき予定である。この委員会も来年度2回ほど予定しており、要所要所でご相談させていただきたい。(事務局)

○道の駅は、玄関口となり、阿見をワールドクラスに引き上げる起爆剤となる。広域的な位置づけで考えていただきたい。(松山委員)

○アウトレットは阿見町にオープンして8年、阿見町の入口になっている。町で一番集客を集めているが、もっと町内に人を流していければと思っている。道の駅とつなぐやり方も今後検討していきたい。今回のように官民連携で進めるとなると、民間の企画力におんぶにだっこになりがちである。我々も、手を取り合って、民間として上手く発信していきたい。(羽原委員)

○全体のスケジュールに関して、ハードについては、ファーマーズフォレ

ストさんの提案を踏まえて、売場のレイアウトやレストランの席数、交流施設の使い勝手などを基本設計の見直しを行い、29年度に実施設計に入っていく。30年度に造成工事に着手し、31年度に建築工事、32年7月にオープン予定である。ソフトについては、本日、指定管理予定者との覚書を締結し、31年4月に指定管理者になっていただき、開業準備に入っていただく。（事務局）

○直売所に出荷する生産者を集めるのはいつくらいのタイミングか。（野口委員）

○指定管理予定者と協議して進めていく。（事務局）

○作付の計画や確保可能な総量などについて、まずリサーチを行う。来年度早々にはあらかじめのスケジュールを示す。来年度後半くらいから、生産者との意見交換会を開いて、どんなものを作っているか、出荷する希望があるかなどについて把握していく。開業の1年前には、生産者組織を作って売り場の棚をどう埋めるか決めていく。（F・F）

○観光振興計画では、観光として呼ぶお客さんは、まい・あみ・まつり、さくらまつり、さわやかフェアで10万人、予科練記念館で6万5千人で16万5千人となっている。アウトレットを入れると毎日1万人来られており、入込人口としては茨城県内で第3位である。ただし、ロケーションだけ見ると一番悪い。外からのお客さんと呼ぶのに、ろまんちっく村の温泉のように他にはない特徴、発想をもっていけないといけない。（宮寄委員）

○実は、ろまんちっく村の温泉はほとんどが日常利用である。観光という点では、日光への入口というロケーションを活かしているんなイベントをやっている。規模の大小はあっても阿見の道の駅でできることはいろいろある。商品構成という面でも、神崎の発酵のように阿見ではこうだということを作っていけないといけない。観光より日常を大事にしているが、集客の要素とするとアウトレットは大きい。相乗効果でうまくリンクして、アウトレットだけで帰ってしまわないような仕組みを作っていくことが必要である。毎日又は週に数回来られるお客さんが中心で、それに加えて月何回や年に何回来られる広域のお客さんがいて、それぞれのターゲットに即したような特徴を作っていくことが重要である。また、茨城県南地域で道の駅がどんどん作られていく中でどう差別化を図るか。ロケーションがどうかはわからないが、仕組みづくりでどう解消していくかということが重要である。10年先を見据えた仕組みづくりをしていけないといけない。（F・F）

○もう一つは、「えにしトラベル」では、獣害対策ツアーや茶畑再生ツアーなど地域課題と向き合うようなコンテンツを提案している。阿見でも通常観光要素となりえないものが資源となりうる。この2年間でその素地を作りながら、観光集客を模索していきたい。（F・F）

○2点お願いしたい。阿見町の特徴として大学が3つあり、そのどれもが健康にまつわることをやっている。大学との連携を考えていただきたい。学生の若いパワーも活かしていただきたい。もう1点は増田寛也のような上から目線ではないようお願いしたい。地域の方とよく語り合っていていただいて地域と一体となった活動をお願いしたい。（委員長）

○地元と役割分担をしながら、意見交換させていただきたい。町と民間の関係は、上でもなければ下でもない。協働、パートナーシップである。ぜひ、前向きに建設的に議論していきたい。また、宣伝になるが、4/25放送の「ガイアの夜明け」後半部分で私が特集されるので、ご覧になっ

	<p>ていただくと、これまで取り組んできたプロセスが分かり、少し参考になるかと思う。(F・F)</p> <p>(2) 指定管理予定者との意見交換 事務局より、資料1、2を用いて説明 質疑応答は以下のとおり</p> <p>○漬物をお土産コーナーに置くのはどうでしょうか。つくばの西武百貨店が閉店したため、それに代わるものとして道の駅で贈答品が買えるとよい。包装紙でものをいうわけでないが、それも含めてお願いしたい。 (萩原委員)</p> <p>○島津梅林は梅もぎ体験ができ、梅はお土産にもなる。(池田委員)</p> <p>○道の駅とも連動させやすいため、近くの体験メニューなどの情報があれば、ぜひ紹介してほしい。(F・F)</p> <p>4. その他 ○29年度には用地買収し、伐採を行って文化財の発掘調査を行う。ファーマーズフォレストさんから提案もいただいております、実施設計や今後のスケジュールなどを詰めていく予定である。(事務局)</p> <p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--

阿見町道の駅 指定管理予定者実施計画書(案)

〔平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日〕

株式会社ファーマーズ・フォレスト

・ 平成 29 年 4 月

【5 月 8 日修正版】

事業実施方針

平成 29 年 2 月 9 日をもって、当社は阿見町議会より認可され阿見町道の駅(仮称:道の駅あみ)の指定管理予定者として新たな一步を踏み出しました。平成 29 年度は、指定管理予定者としての道の駅に関する業務実施初年度であり、着実にその計画を実行することが責務です。また、阿見町役場、他関係団体と連携し、地域及び行政との協働関係を深め、地域振興に寄与すべく本事業を推し進め、本施設が同町内の地域振興、地域交流の拠点となるべく努めてまいります。

当社では、以下に示す当社の事業全体の考え方を基本として、実施方針に基づき業務を遂行してまいります。

【当社の事業全体の考え方】

- 1)「むすぶ」「つなぐ」「場づくり」をコンセプトワードとした地域商社としての展開
- 2)地域高付加価値化並びに地域力創造の原動力として
- 3)公益事業と収益事業の考え方
- 4)適切な収益水準の確保

※当社の阿見町道の駅指定管理予定者申請書ご提案させて頂いております内容となります。

【指定管理者予定者期間における事業実施目標】

- ① 阿見町役場等と連携し、本施設の認知度や集客力の向上に努め、地元町民の皆様や観光の方に愛される茨城エリア最大の賑わい拠点を目指します。
- ② 地場産品PRや地元農業者の支援など、公益の増進に寄与する取組を積極的に推進するとともに、収益事業における営業力の強化や新たな収益源の獲得に努めます。
- ③ 各種事業の推進にあたっては、具体的な数値目標や手段等を明示するとともに、不断の収益構造の改善や事務事業の業務効率化を図るとともに、阿見町の地域振興における最前線の窓口としてのガバナンスの強化を実施してまいります。

<事業概要>

1.目的

阿見町道の駅指定管理者募集要項に則り、町と一体となり地元農業、商工関係団体等との連携を図り、道の駅における地域産業の振興を目指すことを前提とし、平成 32 年 7 月に開業予定の阿見町道の駅の健全なる運営に向けた実施計画の策定と、同町において産業及び観光の振興を図り、地域の発展、振興に寄与する施策を構築することを目的とします。

2.業務の範囲

阿見町道の駅指定管理予定者の覚書に基づき、以下の業務を実施してまいります。

- (1) 施設計画の協議に関する業務
- (2) 農産物直売施設の運営準備に関する業務

- (3) 物産販売施設の運営準備に関する業務
- (4) 飲食施設の運営準備に関する業務
- (5) 広報の準備に関する業務
- (6) 管理運営計画に関する業務
- (7) その他の業務

3.具体的な取り組み内容

【指定管理者予定者期間における当社の事業実施の考え方】

平成 29 年度については、「阿見町」を知ること注力してまいります。今回のご提案の中で評価を頂きました「地域商社機能」をより発揮させるための地域独自の素材と、町民の皆様の信頼を少しでも多く集めることに力を傾注してまいります。今後のより良きパートナーとして協働していただく農業生産者の皆さま、そして地域住民の皆様との話し合いの機会を設けることで、ひとりでも多くの住民の皆さまが関与できる道の駅の基盤づくりに励む年度といたします。その間、地域商社機能の拠点施設となる道の駅の営業コンセプトを確立する一方で、平成 30 年度には、信頼の幅をより広げる努力とともに、本施設における農産物や地域産品の扱い数量の確保はもとより、お客様にとって魅力ある地域産品の発掘、及び本施設独自の商品・メニューの試作開発を行うことを 2 年目の目標としてまいります。

【指定管理予定者期間の目標数値】

<農産物>

■出荷意向のある生産者数： 100 名

<物産品>

■出品予定取引先数： 50 社

■本施設差別化商品の商品化に向けた試作開発数： 3 点

<飲食・軽食>

■本施設差別化メニューの商品化に向けた試作開発数： 6 点

レストランメニュー： 2 点 / 惣菜メニュー： 2 点 / ジェラートメニュー： 2 点

※差別化商品・メニューとは、他の道の駅との違いを生み出せる商品・メニューのことです。

<観光>

■着地型観光事業の実現化に向けたモニターツアー： 1 回

【業務内容のスケジュール】（※別紙①-1～①-2 マスタースケジュール参照）

<(1)施設計画の協議に関する業務>

施設整備計画案の策定

・実施設計等に関する打合せ協議に参画し、施設内全体のゾーニングや各施設のデザイン、面積、什器、必要機材、レイアウト等に関して、費用の低減を図りながら最大限の効果（お客様目線での利便性の確保など）を発揮出来る提案を行ってまいります。

（※別紙②-1～②-3 施設計画案 / ②-4 要望書 参照）

<(2)農産物直売施設の運営準備に関する業務>

●生産者募集

- ・茨城かすみ農業協同組合・茨城県農業振興事務所等へのご挨拶
- ・取引に関する諸規定(案)の策定
- ・意見聴衆会(サンクラブなど数団体)の実施
- ・農産物出品者公募説明会の実施
- ・農産加工品等(6次産業化商品含む)の出品者開拓に向けての説明会
- ・出荷者意向調査の実施(本契約は開業6ヵ月前)
- ・町内外農業生産者の調査・検討
- ・農場圃場見学及び挨拶

●品揃え計画

- ・競合店(調査先)の選定
- ・競合店調査(農産物・生産者の事前調査)
- ・季節ごとの出品内容の把握
- ・農産物売上見込額の算出
- ・栽培協力の依頼→全体会議にて依頼→個別依頼

●販売促進計画

- ・農産物の販売促進イベントの企画立案
- ・販売促進方法の検討(ヒト・モノ・コト)
- ・農産物ギフトの検討(店頭個配・通信販売・ふるさと納税等)
- ・イベント、催事の検討(あみアウトレットなど)
- ・店舗外流通の検討(中規模流通事業)

<(3)物産販売施設の運営準備に関する業務>

●出品者募集

- ・阿見町商工会、あみ観光協会等へのご挨拶
- ・取引に関する諸規定(案)の策定
- ・一般商品出品者公募説明会の実施
- ・町内外一般商品出品者の調査・検討
- ・競合店(調査先)の選定
- ・競合店調査(商品・取引先の事前調査)

●品揃え計画

- ・棚割案の作成
- ・農産物売上見込額の算出

●販売促進計画

- ・販売促進(インスタプロモーション)の企画立案
- ・特産物を使用したオリジナル商品の開発の検討
- ・ギフト展開の検討(店頭個配・通信販売・ふるさと納税等)

- ・イベント・催事の検討(あみアウトレットなど)
- ・店舗外流通の検討(中規模流通事業)

※6 次産業化商品・農商工連携商品・あみブランド商品等の開発に向けての協議を行います。

◎阿見町役場担当課さまへの依頼事項 →

地域ブランド認定制度(あみブランド)の実施の検討

※一般商品出品者の開拓

阿見町内より商品開拓を実施(展示会や個別訪問など)いたします。

◎阿見町役場担当課さまへの依頼事項 →

展示会や物産展などの開催に関する情報提供のお願い

<(4) 飲食施設の運営準備に関する業務>

●メニュー・サービス

- ・人気店の調査(カテゴリーと傾向の把握)
- ・提供メニューの検討
- ・他の道の駅等との差別化ポイント(メニュー・提供方法等)の調査・研究
- ・提供メニュー案のまとめ
- ・提供メニューの決定

※利用動機・ターゲット・業態・スタイル・価格帯・メニュー内容等を検討します。

●厨房機器・原料調達先

- ・厨房機器の選定
- ・他の道の駅等との差別化となる原材料(地元産)の調達先調査

●試作・開発

- ・特産物を使用したオリジナルメニューの開発の検討(パン・ジェラート・惣菜・飲食メニュー等)
- ・試作開発協力業者の調査
- ・試作の製造

※地域食材を利用したメニュー研究と開発を推進します。

◎阿見町役場担当課さまへの依頼事項 →

役場内の職員(男性・女性)様との定期的な意見交換会の設定のお願い

町内の中央公民館など調理室をお持ちの施設の案内のお願い

町内で協力頂ける企業様のご紹介のお願い

試作時における職員の方の試食のお願い

<(5) 広報の準備に関する業務>

- ・情報発信コーナー運営計画案(道路・観光・行政・商品他、運用方法など)
- ・関係機関との連絡調整

- ・インターネットによる情報発信の準備
- ・その他情報発信方法の調整
- ・道の駅ネットワーク協議会への参加

※町内情報の収集方法等に関しての事前協議を行います。

※道の駅あみの専用ホームページやフェイスブックなどの運用方法を検討致します。

※プレスリリースの方法や道の駅あみパンフレットの制作等について検討致します。

◎阿見町役場担当課さまへの依頼事項 →

阿見町広報課さまやあみ観光協会さまなどのご担当者さまの紹介のお願い

(広報あみや観光パンフレットなどの運用やその他情報の収集方法について)

<(6)管理運営計画に関する業務>

- ・休業日について
- ・営業時間について
- ・愛称募集の有無について
- ・施設の安全管理計画案
- ・収支計画案(売上計画・人件費・維持管理費などを含めた損益計算)
- ・催事計画案(屋外イベントスペースや多目的スペースなどでのイベント実施計画)
- ・地域連携に関する実施計画案(レンタルサイクル事業等)
- ・その他計画案(ATMの設置など)
- ・定例会の開催
- ・常駐スタッフの確保に向けて
- ・支店設置の準備確認
- ・その他(地域おこし協力隊など)

※本施設の営業時間や休業日についての協議

※本施設の愛称を公募するかなどの協議

※施設ハード部分に関する施設設備の点検や保守、清掃など適切な施設の維持管理について

※実施設計をもとに、売上計画・人件費・維持管理費などを含めた損益計算

※屋外イベントスペースや管理コミュニティ棟の多目的スペースなどでのイベント実施計画

※屋外イベントスペースや多目的スペースの貸館営業の計画

※霞ヶ浦周辺地域と連携したレンタルサイクル事業の実施に向けた周辺環境調査

※その他計画案

(サービス機能)

平成 29 年 6 月までに(実施設計策定段階までに)

※ATMの設置の検討

※無料 WiFi スポットの整備の検討

※宅配ロッカーの設置の検討

※自動販売機業者の選定に向けた情報収集

(その他)

※旅行エージェント等への立ち寄(昼食含む)りなどのツアーへの組込依頼営業の計画

<http://www.town-echizen.jp/pages/?18>

※工業団地内企業様への利用促進案内の計画

※定例会の開催

阿見町役場担当課との打合せ 適宜実施

社内定例会 毎月2回

※常駐スタッフの確保

平成31年4月に予定されている常駐スタッフの配置については、期間内に公募を行い選定いたします。

※支店の設置

阿見町支店に関しましては、平成31年度初頭に設置を予定しております。

※その他

◎阿見町役場担当課さまへの依頼事項 →

町内外のイベント実施状況についての情報提供のお願い

地域おこし協力隊の活用の検討

地元雇用促進事業制度等の活用の検討

阿見町特産品を活用した新商品・メニュー開発にむけて補助事業の活用の検討

<(7) その他の業務>

【着地型観光事業について】

●素材調査

□体験素材の現地調査

<調査のポイント>

1.住みたい価値(まちづくり)

地元とのコミュニケーション、支援サポート

2.買いたい価値(ものづくり)

ストーリー性のある商品開発(モノ・コト)

3.行きたい価値の観点(ひとづくり)

伝統文化・体験交流・空間・風景 印象的な地域の魅力をつくる

□協力店舗、施設。法人などの調査

●人材育成

ボランティアガイド挨拶

講習・研修

実地研修

ガイド指導・管理

●宣伝

配布物などの制作

PR活動

●モニターツアー

ツアー参加関係者との連絡・調整

ツアー参加者募集

ツアー実施

報告書の作成

【その他】

＜出口戦略について＞

域外流通(阿見町の外での小売流通)に耐えうる商品やその組み合わせ、農産物の2次加工により商品の魅力が上がるかが課題となります。そのための素材探しに向けた期間(2年)といたします。

＜開業までの準備内容＞

別紙①-2にて、指定管理者期間(平成31年4月～)における開業までの実施内容(案)を記載いたします。

阿見町道の駅 実施計画マスタースケジュール(案)【指定管理予定者期間】

項目	内容	平成29年度												平成30年度												平成31年度			平成32年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
施設計画	施設外	実施計画に関する協議	●		●		●																						
		全体ゾーニング案の提案	●		●		●																						
		①裏庭(丘陵部)の利用方法	●		●		●																						
		②駐車場	●		●		●																						
		③徒歩・自転車について	●		●		●																						
		④その他の提案(意匠他)	●		●		●																						
	施設内	施設内区画案の提案	●		●		●																						
		①管理コミュニティ棟	●		●		●																						
		②トイレ情報棟	●		●		●																						
		③農産物・物産販売棟	●		●		●																						
		④ストックルーム	●		●		●																						
		⑤従業員休憩室	●		●		●																						
		⑥飲食施設	●		●		●																						
		⑦その他加工施設	●		●		●																						
		⑧トイレについて	●		●		●																						
		⑨導線について	●		●		●																						
		⑩施設内使用機材案	●		●		●																						
⑪施設内使用什器案	●		●		●																								
⑫その他の提案	●		●		●																								
農産物計画	生産者募集	茨城かすみ農業協同組合・茨城県農業振興事務所等へのご挨拶			●→●																								
		取引に関する諸規定(案)の策定	●																										
		意見聴衆会(サンクラブなど数団体)							●→●																				
		農産物出品者公募説明会の実施														●													
		農産加工品出品者公募説明会の実施							●→●																				
		出荷者意向調査の実施(本契約は開業6ヵ月前)																	●→●	集計	●					●			
		町内外農業生産者の調査・検討																	●							→			
	品揃え計画	農場園場見学及び挨拶																		●							→		
		競合店(調査先)の選定	●								→●																		
		競合店調査(農産物・生産者の事前調査)									●																→		
		季節ごとの出品内容の把握									●																→		
		農産物売上見込額の算出																			●								
	販売促進計画	栽培協力の依頼→全体会議にて依頼→個別依頼																		●							→		
		農産物の販売促進イベントの企画立案									●																→		
		販売促進方法の検討(ヒト・モノ・コト)									●																→		
		農産物ギフトの検討(店頭個配・通信販売・ふるさと納税等)									●																→		
		イベント・催事の検討(あみアウトレットなど)																							●				
物産品計画	出品者募集	店舗外流通の検討(中規模流通事業)						●																		→			
		阿見町商工会・あみ観光協会等へのご挨拶	●→●																										
		取引に関する諸規定(案)の策定	●																										
		一般商品出品者公募説明会の実施									●→●																		
	品揃え計画	町内外一般商品出品者の調査・検討																	●→●	集計	●								
		競合店(調査先)の選定	●								→●										●						→		
		競合店調査(商品・取引先の事前調査)									●																→		
		棚割(案)の作成 ※開店1ヶ月前に決定																			●								
	販売促進計画	売上見込額の算出																			●								
		販売促進(インスタプロモーション)の企画立案									●																→		
		特産物を使用したオリジナル商品の開発の検討									●																→		
		ギフト展開の検討(店頭個配・通信販売・ふるさと納税等)									●																→		
	イベント・催事の検討(あみアウトレットなど)																						●						
	店舗外流通の検討(中規模流通事業)									●																→			
																									●				

阿見町道の駅 実施計画マスタースケジュール(案)【指定管理予定者期間】

項目	内容		平成29年度												平成30年度												平成31年度						平成31年度	平成32年度
			平成29年										平成30年		平成30年										平成31年									
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
飲食計画	メニュー・サービス・	人気店の調査(カテゴリーと傾向の把握)		●				→	●																									
		提供メニューの検討、大枠の決定		●				→	●																									
		他の道の駅等との差別化ポイント(メニュー・提供方法等)の調査・研究		●																						→	●							
		提供メニュー案のまとめ																										●						
		提供メニューの決定																										●						
	厨房機器調達先・	厨房機器の選定		●					→	設計事業者様とご相談																								
		他の道の駅等との差別化となる原材料(地元産)の調達先調査		●																						→								
	開試発作	特産物を使用したオリジナルメニューの開発の検討(パン・惣菜・ジェラート他)							●																	→								
		試作開発協力業者の調査							●										→	●														
		試作の製造																	●							→	●							
広報計画		情報発信コーナー運営計画案																																
		関係機関との連絡調整																								→								
		インターネットによる情報発信の準備																								→								
		その他情報発信方法の調整																								→								
		道の駅ネットワーク協議会への参加																									●							
管理運営計画		収支計画案(売上計画・人件費・維持管理費などを含めた損益計算)																																
		催事計画案(屋外イベントスペースや多目的スペースなどでのイベント実施計画)																																
		地域連携に関する実施計画案(レンタルサイクル事業等)							●																	→								
		その他計画案(ATMの設置など)		●		●		●																										
		定例会の開催		適宜実施																														
		常駐スタッフの早期確保に向けて																								→								
		支店設置の準備確認																								→								
		その他(地域おこし協力隊など)		●						→																→								
その他(着地型観光)	素材調査	〇体験素材の実地調査							●										→	●														
		＜調査のポイント＞																																
		1.住みたい価値(まちづくり)																																
		地元とのコミュニケーション、支援サポート																																
		2.買いたい価値(ものづくり)																																
		ストーリー性のある商品開発(モノ・コト)																																
		3.行きたい価値の観点(ひとづくり)																																
	人材育成	伝統文化・体験交流・空間・風景 印象的な地域の魅力をつくる																																
		〇協力店舗、施設。法人などの調査							●											→	●													
		ボランティアガイド挨拶																																
		講習・研修																								→	●							
	宣伝	実地研修																								→	●							
		ガイド指導・管理																								→	●							
	モニターツアー	配布物などの制作																	●	→	●													
		PR活動																		●						→	●							
		ツアー参加関係者との連絡・調整																	●							→	●							
		ツアー参加者募集																								→	●							
		ツアー実施																									●							
	報告書の作成																										●							

別紙①-2

阿見町道の駅 開業までの実施内容について(案)【指定管理者期間 平成31年4月～】

項目	内容		平成31年度												平成32年度													
			平成31年												平成32年													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総務関連事項	店舗運営ルール	店舗経営理念・行動規範の策定																										
		店舗システムの構築																										
		・経営数値管理・人事管理・POS販売管理																										
		諸規定、社内ルールの整備																										
		・意思決定(決済)、経費申請等のルール																										
		・人事、情報に関するルール																										
		・安全衛生、防災等緊急時に関するルール																										
		・口座開設(新規取引、商品導入等)に関するルール																										
		・通常取引以外(催事販売等の臨時取引)のルール																										
	人事	支配人の決定																										
		運営体制の明確化、最適人員数の確定																										
		採用、教育訓練計画																										
		・募集・採用・教育訓練																										
		採用時に必要な備品の準備																										
	その他総務関連	・制服・ネーム・名刺・必要書類																										
		部門スタッフ、パートアルバイトの募集と採用																										
		配送事業者(日本郵便やヤマト運輸他)																										
		清掃事業者(清掃エリアの分担を明確化)																										
		店舗総合保険(PL保険、火災保険等)																										
		警備の在り方検討(入金や釣銭など)																										
		警備会社の選定																										
		緊急連絡網の作成																										
		ゴミ廃棄(一般廃棄物収集運搬許可事業者確認)																										
		館内放送運用マニュアル策定 有線放送等との契約																										
		銀行口座開設(夜間金庫使用の有無)																										
		現金移動(小口現金、釣銭準備金)																										
		電話工事																										
		インターネット環境工事																										
		包装資材会社の選定(買い物袋などの備品、清掃道具など)																										
		自動両替機(釣銭両替)/売上入金金機																										
		サービスカウンター運用方法																										
		配送物流体制の検討(内容・体制・車輛他)																										
		観光案内業務の範囲の確認																										
		デジタルサイネージ運用方法																										
		電気・ガス・水道会社との契約																										
		社会保険事務所/職業安定所/労働基準監督署 届出																										
		備品(店舗内外のベンチ・ゴミ箱・環境美化備品(観葉植物)など)																										
		その他サービス(ATM/精米機他)運用方法について																										
販売促進関連事項	(法令遵守事項)	<物産販売>酒類小売販売業・豆腐販売業・乳類販売業・食肉販売業・魚介類販売業・氷雪販売業																										
		酒類販売管理者																										
		<レストラン>飲食店営業																										
		食品衛生責任者																										
		<加工施設>アイスクリーム類製造業・そうざい製造業・菓子製造業																										
	装飾	食品衛生管理マニュアル																										
		<施設全体>																										
		消防計画																										
		防火・防災管理責任者選任届																										
		健康診断																										
	販売促進	販売什器・バックヤード什器の検討																										
		照明器具や店内装飾物																										
		統一ロゴ作成(WEB・レジ袋・紙袋・ロゴシール他)																										
		年間販促計画																										
		宣伝広告計画(看板、チラシ、広報、パンフレット、メディア他)																										
		ポイントカードの是非検討																										
		ドメイン、アドレス取得 HP制作(通販含む)																										
		オープニングイベント企画(サービス/商品/飲食他)																										
その他調整事項	物販	POP、プライスカード等について																										
		オープニングイベント企画(サービス/商品/飲食他)																										
		開業前挨拶(近隣住民、関係者)																										
		レイアウト及び棚割の確定																										
	飲食	店頭催事(店舗入口付近での売場催事/業者調整)																										
		道具・備品の調達																										
	営業	オペレーション検討																										
	営業	教育・訓練の実施																										
		営業計画①(売上目標/内容/ツール/体制他)																										
		営業計画②(旅行会社/近隣企業/行政関係他)																										
		観光業者への情報提供																										
	他	初年度事業計画書(収支計画など)の確定																										

阿見町では地域の活性化、産業の振興、道路利用者の利便性向上等を目的とし、平成32年7月ごろの開業を目指し、道の駅を整備しています。オープンに向けて道の駅に農産物等を出品していただける方を募集します。募集に際し下記のとおり説明会を開催いたしますので、是非ご参加ください。

※整備計画では、駐車場や公衆トイレなどの道の駅機能施設と、農産物等直売所やレストラン、加工室を備えた地域振興施設を整備することとしています。



▲施設整備予定地

阿見町に道の駅が誕生します！

道の駅に農産物・加工食品・工芸雑貨品を出品しませんか？

出品者説明会のご案内

出品者説明会開催日時		開催場所
第1回 農産物出品者向け	9月26日(火) 19:00～20:30	阿見町役場 301会議室
第2回 加工食品出品者 工芸雑貨品出品者向け	9月27日(水) 19:00～20:30	本郷ふれあいセンター多目的ホール

【内容】 道の駅の概要説明、出品方法、出品申込み等について

【対象】 今回は道の駅直売施設に阿見町内で生産された農産物、加工食品、工芸雑貨品などの出品を希望する方、出品に興味のある方となります。

【参加方法】 事前の申込みは不要です

＜＜ 問合せ先 ＞＞

阿見町道の駅 指定管理予定者

(株) ファーマーズ・フォレスト 阿見町道の駅 開業準備室

TEL (028) 665-8800 FAX (028) 665-8678 E-mail ami-project@farmersforest.co.jp

阿見町役場 道の駅整備推進室

TEL (029) 888-1111 E-mail michinoeki-ofc@town.ami.lg.jp

阿見町道の駅出品希望者説明会開催概要（結果報告）

主催：ファーマーズ・フォレスト

日 時	平成 29 年 9 月 26 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 30 分
場 所	阿見町役場 第 301 会議室
対象者	農産物・農産加工品出品希望者
参加者	61 名 （内、町外 7 名）
<p>主な質疑</p> <p>Q：毎月 500 円という残留農薬管理費用負担は高いのではないかと。また、無農薬で作っている場合はどういう扱いになるのか。</p> <p>A：栽培履歴管理も併せて行う予定であり、その経費も含む。残留農薬検査のサンプリングは無作為抽出で行う予定であるため、無農薬野菜も対象となる。今後、費用負担と栽培方法のバランスを考慮し検討する。</p> <p>Q：落花生を焙煎した場合は加工品になるのか。ブルーベリーを冷凍しただけは加工品になるのか。</p> <p>A：火を入れたものは加工品となる。加工品の判断基準は、確認後改めて回答させていただく。</p> <p>Q：開店時間は何時予定か。</p> <p>A：8 時 30 分予定。ただし今後の協議の中で変更になる場合もある。</p>	

日 時	平成 29 年 9 月 27 日（水） 午後 7 時～午後 8 時 30 分
場 所	本郷ふれあいセンター 多目的室
対象者	加工食品・工芸雑貨品出品希望者
参加者	90 名 （内、町外 19 名）
<p>主な質疑</p> <p>Q：オリジナリティー、他との差別化を図るキーワードやイメージはあるのか。例えば発酵の里とか。</p> <p>A：皆様からの情報を参考に地域産品、加工技術などを考慮し検討する。</p> <p>Q：一般商品、飲食に関して FF 社が全部取り仕切るのか。飲食として出店することや販売場所の一部を業者に賃貸することはあるのか。</p> <p>A：指定管理者公募時に運営に関しては「直営」を明示してある。FF 社が他に貸与することは考えていない。ただし、ケータリングカーなどの出店で場所を貸すことはありうる。</p> <p>Q：初年度の来場者予測、売上予測および FF 社として道の駅を周知するための方法を教えてほしい。</p> <p>A：交通量より 60 万人を想定している。周知方法は、色々なメディアミックスを考えている。現在は、ティザーサイトという HP を用意し、町内の方を中心に周知している。</p> <p>Q：開業スケジュールの進捗状況はどうか。</p> <p>A：約 8 割の用地買収完了。埋蔵発掘調査を今年度終了させ、来年度造成工事開始予定である。現在順調に進行中である。</p>	

その他詳細は別紙会議報告書（FF）のとおり。

9月26日 農産物・農産加工品出品希望者説明会



9月27日 加工食品・工芸雑貨品出品希望者



阿見町では地域の活性化、産業の振興、道路利用者の利便性向上等を目的とし、平成32年7月ごろの開業を目指し、道の駅を整備しています。オープンに向けて道の駅に農産物等を出品していただける方を募集します。募集に際し下記のとおり説明会を開催いたしますので、是非ご参加ください。

※整備計画では、駐車場や公衆トイレなどの道の駅機能施設と、農産物等直売所やレストラン、加工室を備えた地域振興施設を整備することとしています。



▲施設整備予定地

阿見町に道の駅が誕生します！

道の駅に農産物・加工食品・工芸雑貨品を出品しませんか？

意見交換会のご案内

① 農産物出品者向け	会開催日時	開催場所
阿見地区	1月10日(水) 17:30～18:30	中央公民館多目的室
君原地区	1月11日(木) 17:30～18:30	君原公民館多目的室
朝日地区	1月24日(水) 17:30～18:30	本郷ふれあいセンター会議室1
舟島地区	1月26日(金) 18:00～19:00	舟島ふれあいセンター会議室
② 加工食品出品者 工芸雑貨品出品者向け	1月24日(水) 14:00～15:00	本郷ふれあいセンター多目的ホール

【内容】 道の駅の概要説明、出品方法、出品申込み等について

【対象】 今回は道の駅直売施設に阿見町内で生産された農産物、加工食品、工芸雑貨品などの出品を希望する方、出品に興味のある方となります。

【参加方法】 事前の申込みは不要です。農産物出品希望者はお住まいの地区に合わせてお越し下さい。

<< 問合せ先 >>

阿見町道の駅 指定管理予定者

(株) ファーマーズ・フォレスト 阿見町道の駅 開業準備室

TEL (028) 665-8800 FAX (028) 665-8678 E-mail ami-project@farmersforest.co.jp

阿見町役場 道の駅整備推進室

TEL (029) 888-1111 E-mail michinoeki-ofc@town.ami.lg.jp

第5回阿見町道の駅運営検討委員会 道の駅視察時説明要旨

日 時	平成 29 年 10 月 20 日（金） 道の駅うつのみや ろまんちっく村 11:00～12:15 道の駅ましこ 15:00～15:30
場 所	道の駅うつのみや ろまんちっく村 道の駅ましこ
説 明 者	道の駅うつのみや ろまんちっく村：原田室長 道の駅ましこ：交流・広報リーダー 山崎氏
出 席 者	阿見町道の駅運営検討委員会委員 8 名 町関係部署 3 名 阿見町道の駅整備・地域振興施設に関する担当者会議 3 名 事務局 5 名 (計 19 名)

【説明要旨】

(1) 道の駅うつのみや ろまんちっく村

- ・施設自体は完成から 20 年経過しており、老朽化も見られる。
- ・FF は H20 から指定管理者となり、H24 に道の駅登録が実現した。
- ・指定管理者に指定される際の条件として、それまで経営していた第三セクターの職員 120 名の再雇用や、地ビール事業の引き継ぎ、温泉施設等の一括管理があった。
- ・第三セクター時代は毎年 3 億円を市から支出していたが、FF はそれを 2.7 億円に縮小し、指定管理期間中（10 年間）に 1 億円まで削減することを提案した。
- ・宿泊施設は 60 名まで利用可能で、山岳クラブや少年野球、お泊り保育等での利用が多い。
- ・キッチンスタジオは、シェフのアドバイスをもらいながらレシピを考えるなど、六次産業化に挑戦している。
- ・敷地内でホップ栽培も始めており、オール栃木産のビールを目指している。
- ・イベントは月 3 本、1 万人規模のものを開催するようにしている。イベントは生産者と消費者のマッチングの場との考えを持っている。
- ・通年稼働している農家は 120 名程度。FF が農産物を集荷配送するシステムを確立した。
- ・生産者は能力があっても、すべて売りさばけないことを心配して生産を抑える現状がある。FF が大都市での販路を確保することで、生産者は生産に専念することができ、農家所得の向上につながる。

Q：「里のエリア」の地目は？

A：農地。

Q：近隣で、ドッグランはあるか？

A：2 箇所ほどあるがいずれも有料。当施設のドッグランは本来調整池だが、3 年ほどかけて説明会、アンケート調査を行い実現した。

(2) 道の駅ましこ

- ・建物は鉄筋コンクリート造だが、仕上げに八溝杉の集成材や益子焼で使われる黄土の土壁を使用することで栃木感を出している。
- ・ガラス張りの施設という事で空調費が心配されていたが、一年間運営した結果、空調費は近隣の施設と比較してさほど変わらなかった。
- ・防災機能は一時避難所としての扱いで、観光客や帰宅困難者を一時的に非難させた後、近くの小学校へ避難させることとなっている。
- ・レンタサイクルは 20 台備えており、料金は一回 700 円。

Q：オープンから 1 年経って、売上や利用客数は当初の想定と比較していかがだったか。

A：当初の想定では、売上が 2.8 億円、利用客数が 30 万人だった。数字は現在算出中だが、

いずれも想定を大きく上回る結果となりそうである。

Q：商品の特色や、工夫している点はあるか。

A：益子町は観光で訪れる方が多いので、生鮮食品の他にも土産品を多く揃えている。また、焼き物をはじめとした手仕事品の町でもあるので、そういった商品も取り揃えている。

Q：出荷者はどれくらいいるか。

A：登録している出荷者は約 150 名。町内の他に、真岡市や茨城県の方もいる。半径 10km 圏内は地元という感覚である。但し、はじめは町内で商品構成をし、足りないところは町外で補うという考え方でやってきた。

※各委員等の感想・意見については、別紙のとおり。

町 長	公室長	室長	補佐	係長	係長	課員	合議

平成 29 年 10 月 20 日（金）道の駅視察記録

阿見町道の駅運営検討委員会 阿見町道の駅整備・地域振興施設に関する担当者会議

（１）道の駅うつのみや ろまんちっく村

- グリーンツーリズムや農業体験など、広大な敷地をうまく活用している。一日ゆっくり過ごせる。
- 地域の方々とのコミュニケーション・支援もあって、道の駅を核とした地域戦略を築けている。
- 生産者への思いや、地域価値を向上させるという会社の方針が見えた。
- 毎月イベントを開催しており、集客する企画力が高い。
- 道の駅周辺でのアクティビティー、イベント作りが上手い。
- キッチンでシェフとレシピを考えるのはいいと思った。
- 地ビールが美味しかった。
- パン屋が日替わりで出品しているのが良い。
- 手打ち蕎麦がおいしかった。価格の割に量が多く、リーズナブル。
- 建物は古いが、多方面において満足できた。（食べ物、飲物、買い物）
- 農産物やお土産品の他、花の品ぞろえも豊富だった。
- 直売所の品揃えが多く、価格帯も買いやすい。
- 商品の説明 POP やレシピが有り、購入意欲が湧く。
- × ラーメンは地産地消感がゼロ。返却場も汚い。なぜあんなにラーメンと蕎麦の店を隔てるのか。
- × 蕎麦は美味しかったが、天ぷらが最悪。油と衣を工夫し、冷めても不快なく食せるように改善が必要。
- × 施設が古く、売り場が暗いと感じた。施設のメンテナンスにも力をいれるべき。
- ・ 説明だけではなく、できれば施設の方も案内してほしかった。
- ・ 敷地が広大で、阿見町との比較が難しかった。
- ・ 商品が多く何でも揃っているが、一方で「これだ！」というものが見つからない。
- ・ 車は宇都宮ナンバーが多く、日常使いの率も高そうだった。

（２）道の駅ましこ

- 展示が腰の高さに統一されている。空間の使い方としてはもったいないが、子供から老人まで対応可。
- 建物や陳列の色合いはシンプルだが明るく、統一感があってよい。全体的にすっきりまとまっている。
- 建物が周りの景色に溶け込んでいて、入りたい気分になる。
- 建物には八溝杉の集成材や黄土を左官塗するなど、こだわりを持っている。陳列棚も、地元の工務店で制作した手作りとなっている。
- 店内の通路幅が広く、歩きやすかった。
- 本格的なレストランがないからか、バックヤードが非常にコンパクトだった。
- 農産品の品揃えは少ないが、見やすい。
- BGM が店内一括でビートルズ。色々な音が混ざらないのは気分がいい。
- 建物の裏にある芝生広場がいい。イベント等にも対応できる。
- ロゴの手作り感がいい。
- ガチャガチャや缶バッジは子供が喜ぶ。

- 「手仕事」というコンセプトが益子町に合っている。
- オリジナル商品のパッケージが可愛い。
- レジの方が必ずお客様に声掛けをしている。接客がいい。
- ポイントカードがある。
- レンタサイクルが利用できる。(700 円/回。乗り捨て可)
- 近隣でのひまわり畑やコスモス畑、ポターリングましこ（道の駅一周年記念）の開催など、イベントが多い。
- × 男子トイレの小便器が 4 つでは少ない。
 - ・ 食堂は簡素化されており、週末はキッチンカーで補っている。

（３）阿見町道の駅で工夫すべき点やアイデア等

- ・ 阿見町では何をウリにするのか。「コア」となるものが必要。阿見にしかないものは何か。
- ・ うつのみやのドッグランは参考になる。アウトレットは犬を連れてくる客が多いので、誘客する材料の一つになるのではないかな。
- ・ ドッグランは必要ないが、犬の水飲み場や犬と入れるカフェは考える余地がある。
- ・ 滞在時間を長くする仕掛けが必要。
- ・ 美味しいパンとコーヒー。コーヒーは美浦村出身で「ワールドブリュワーズカップ」世界一に輝いた粕谷哲 氏にプロデュースしていただく。
- ・ お土産品は、食べ物 3 種類がセットになって 980 円くらいが手頃でよい。
- ・ 霞ヶ浦沿いサイクリングロードの活用。できれば乗り捨て可能なレンタサイクル。広い駐輪場。
- ・ 休耕地を利用した農業体験、貸し田んぼなど。
- ・ ゴルフ帰りによるお客様もいるので、ゴルフ場とのタイアップも視野に入れるとよい。
- ・ イートインコーナーの充実。例えば石窯ピザ、手打ちそば、焼き立てパンなど。
- ・ 町民加工厨房を利用して、主婦の目線で（シェフのアドバイスを受けながら）新メニューを発売していきたい。
- ・ 盆踊りなど、住民も協力して楽しみを作り上げる場、地域の集い場にしたい。
- ・ レンコンは遠方の友人にとっても喜ばれる。霞ヶ浦のレンコンをもっと宣伝するといいい。
- ・ 沖縄、北海道、栃木との連携に期待している。
- ・ 町のマラソン大会のコースを、道の駅、アウトレット、牛久大仏、予科練平和祈念館等を通るコースに変更できたら、PR 効果が上がる。
- ・ ポイントカードの導入。
- ・ イベントを多く実施する。
- ・ 集荷配送システムや中規模流通事業、着地型観光事業などは、是非阿見町でも取り組んでもらいたい。
- ・ 「とれたてツアー」といった生産者と消費者のマッチング企画。
- ・ ファーマーズ・フォレストの力をできるだけ引き出していきたい。
- ・ 先日の説明会参加者に積極的に接触し、早い段階でコンセプト・目玉事業（案）を決めるとよい。
- ・ 道の駅予定地に看板を出して PR してよいと思う。